

会議議事録

会議名 2020年度 学校関係者評価委員会

2021年3月26日(金)15:00~16:20

委員
学校関係者評価委員
伊藤 智信 : 山ぼうし 施設長
三木 光代 : 神門第Ⅱ保育園 園長
土谷 剛志 : 在校生 保護者代表

議題
1 2020年度自己評価について
2
3
4

No	議題	内容(決定事項)
1	「教育目標と本年度の重点目標の評価」	「2020年度 自己評価報告書 教育目標と本年度の重点目標の評価」参照 <委員からの意見> ・ディプロマ・ポリシーを作成される等、本校の努力を感じる。コロナ禍の中、弛まない教育活動の苦勞を感じる。(三木)
2	「基準1 教育理念・目的・育成人材像」	「2020年度 自己評価報告書 基準1 大項目総括」参照 <委員からの意見> ・一部の授業においては、グループワークやボランティア活動による地域との対話などを通して実践できている部分もある。他の授業においても「主体的・対話的で深い学び」の視点をもって、授業改善に取り組み、新たに入学する学生が戸惑うことなく本校の教育を受けることができるよう準備を進めることが必要であると感じた。(伊藤)
3	「基準2 学校運営」	「2020年度 自己評価報告書 基準2 大項目総括」参照 <委員からの意見> ・学科が増え教員も増える中で高い数値を維持している。経験年数によっても捉え方が違うと思う。(伊藤)
4	「基準3 教育活動」	「2020年度 自己評価報告書 基準3 大項目総括」参照 <委員からの意見> ・100%の資格取得は専門学校にあっては当然のことであるが、重要なことは「如何にハイレベルで合格させるか」ではないかと思う。卒業後の就職や高校生の募集に直結していると考える。(伊藤) ・コロナ禍の中、教育活動もままならない中、教職員の努力が感じられる。(土谷)

No	議 題	内 容(決定事項)
5	「基準4 学修成果」	<p>「2020年度 自己評価報告書 基準4 大項目総括」参照</p> <p><委員からの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同窓会との連携はぜひ実施していただきたい。23年の長い歴史を経て、多くの卒業生が社会で活躍していることと思う。その活躍を具体的にまとめていくことは、専門性と実践力を身に付けるべく貴校で学ぶ学生のモチベーション向上につながると考える。また、これから進路を考える高校生にとっても大きな判断材料になると思う。(土谷) ・大変な学業環境の中、学生の努力が伺える。(伊藤)
6	「基準5 学生支援」	<p>「2020年度 自己評価報告書 基準5 大項目総括」参照</p> <p><委員からの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあって、経済的な問題は極めて大きな問題になったのではと思う。困窮者に対する一層の支援をお願いしたい。学費が払えないから退学するといった学生を出さないために。(三木) ・コロナ禍において、学生の心中にも変化が多かったように感じる。(三木)
7	「基準6 教育環境」	<p>「2020年度 自己評価報告書 基準6 大項目総括」参照</p> <p><委員からの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の整備は、安心・安全にして快適な学園生活を送るためには欠かせない重要なことである。このことは学生の学習意欲、知識・技能の向上に直結しており、資格取得率の向上、退学者数の減少につながるものと思う。また、これからの出願者数の増加にもつながっていくと考える。より一層の充実・拡充を期待する。(伊藤)
8	「基準7 学生募集と受入れ」	<p>「2020年度 自己評価報告書 基準7 大項目総括」参照</p> <p><委員からの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の福祉科からの進学状況は？(伊藤) →次年度はいるが、福祉科から進学しない時期もあった。保育は養成校が多く、学生募集に苦戦した。
9	「基準8 財務」	<p>「2020年度 自己評価報告書 基準8 大項目総括」参照</p> <p><委員からの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部環境の悪化は多くの大学・専門学校が直面している問題である。貴校はこれまで果たしてきた社会への貢献は大きく、存在感もある。貴校の特色が消え、埋没してしまうようなことがないようお願いしたい。(伊藤) ・入学者増、経費削減も大切なことだが、退学者や在學生にも焦点をあてるべきでは。コロナの影響はどの分野でも起きている。質の維持・向上が結果として、入学者増→収入増につながると考える。コロナ禍で、今までのやり方では、どの分野でも通用しなくなっている。新たな取り組みが必要だと思う。(三木) ・厳しい社会情勢の中、一層の努力をお願いしたい。(土谷)
10	「基準9 法令等の遵守」	<p>「2020年度 自己評価報告書 基準9 大項目総括」参照</p> <p><委員からの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校の研修はどんなことをするのか。(土谷) →分野ごとの養成施設協会が提供する教員研修では、特性のある学生への教育方法や新しいカリキュラムの教え方等についての研修がある。

No	議 題	内 容(決定事項)
		<p>今年度はオンライン開催が多く、かえって参加しやすいものもあった。介護分野では、新任教員は基礎的な教育方法に関する研修を全て修了することが求められる。</p> <p>・法令順守への取り組む姿勢が感じられる。(伊藤)</p>
11	「基準10 社会貢献・地域貢献」	<p>「2020年度 自己評価報告書 基準10 大項目総括」参照</p> <p>＜委員からの意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一層の充実を期待する。(三木) ・新型コロナの影響もあり、なかなか地域とのかかわりも計画通りには難しかったと思う。その中でトリニティの発表を見せてもらうのはいい機会だった。子どもたちもいつまでも「あの時こうだったよね」「すごかったね」と言っており、心に残っていたようだ。年長だけ、15人というのもよかった。(三木)
	次 回 開 催	2021年 9月予定